

広報 アウトドアと温泉と
天然しじみのふるさと

Public
Information
Teshio
NO.603

2007.Oct 10

てしお



天塩小学校地域参観日／平成19年8月26日撮影

第25回てしお秋の味まつり



町観光協会主催による第25回てしお秋の味まつりが9月16日、鏡沼海浜公園で行われ、町民や観光客など大勢の人で賑わいました。

前日の雨により天候が心配されておりましたが、当日は過去最高の秋晴れとなり、メインイベントである「秋鮭のつかみどり」の権利を手にするため、つかみどり抽選券配布では長蛇の列が連なりました。つかみどり会場は、ステージ前の中央に設置された、およそ10メートル四方の手作りのいけすで、当日水揚げされた生きの良い150尾の秋鮭を大胆に素手で捕まえます。抽選に当選された参加者は、

狙いを定めた秋鮭を捕まえようとはしますが、するりと手のひらから逃げられ悪戦苦闘。苦労の末、ようやく捕まえると観客から歓声と笑い声が交錯しました。

本部テント横では、今年新たに、捕まえた秋鮭をその場で解体してくれる無料サービスを実施。つかみとった秋鮭をそのままもって帰れない方や、さばき方がわからない方に好評で、その場での解体ということもあり、参考にしようとはたくさんの方が集まって見学しました。

歌謡ショーでは、第37代江差追分日本一の佐々木まり子さんが、日本各地の民謡や演

歌などを熱唱し、観客を魅了しました。

32型液晶テレビが当たる抽選会では、第25回記念として例年よりも賞品の数を増やして行われました。観客が抽選券を手にし、かたずを呑む中、豊富町の渡部誠さんが見事に幸運をつかみました。

特設会場では、魚介類や野菜果物等の即売会が開催され、あての商品を各々購入したり、和寒町提供によるきのこ汁を無料で振舞っていただき、賑わっていました。

そのほか、グルメコーナーでは、天塩で水揚げした秋鮭をふんだんに使用した「てしお鍋」や焼き鳥、ビールなどを販売し、観客は、海の幸や山の幸など、秋の味を堪能しました。



2か所で敬老会開催

恵愛荘敬老会が9月12日、施設利用者55名にて、天塩町敬老会が9月14日に出席者約300名にてそれぞれ開催されました。

天塩町敬老会では、浅田弘隆町長が「体を大切にされ、来年もこの場でお会いしたい」と挨拶を述べた後、「アトラクションとして、松村一郎ショウが行われ、楽しいひとときを過ごしました。」



恵愛荘敬老会式典



天塩町敬老会アトラクション

頑張る地方応援プログラムに応募しました

「頑張る地方応援プログラム」とは

総務省は、やる気のある地方が自由に独自の施策を展開することにより、魅力ある地方に生まれ変わるよう、地方独自のプロジェクトを自ら考え、前向きに取り組む地方公共団体に対し、地方交付税等の支援措置を講ずる「頑張る地方応援プログラム」を平成 19 年 4 月からスタートさせました。

本年度（平成 19 年度）は、約 2,700 億円程度を措置する予定で、1 市町村につき、単年度 3 千万円を限度として、3 年間まで措置されることとなります。

頑張る地方応援プログラムの概要については、総務省ホームページをご参照ください。
<http://www.soumu.go.jp/garbaru/index.html>

天塩町で応募した 5 つのプロジェクト（概要）（プロジェクト期間：平成 19 年～ 21 年）

シジミ資源基盤強化・環境保全事業 プロジェクト

本町の特産品であるシジミは、漁獲量の制限等により資源の確保を図ってきたが、資源の減少や赤サビ貝の発生で昭和 60 年をピークに漁獲量が落ち込んでいる。このため、シジミ資源確保に向け各種事業に着手するとともに生息地である河川・沼の環境保全対策も図っていきます。

しじみボイル生産個数
実績 H18 年度 31,000 個
↓
目標 (H21 年度) 67,000 個
事業費 (平成 19 年度)
55,399 千円 (23,662 千円)

小中学生の通学及び交通弱者等の通院・買い物などの利便性を確保するため、スクールバスの混乗便の運行を図るとともに、天塩高校への町内外からの通学生に対する定期券購入費補助を行い、生徒数の確保及び保護者の負担を軽減する。
スクールバス 4 路線 4 台の
1 日あたりの延べ乗車人数
実績 H18 年度 38 人⇒目標年度 (H21 年度) 100 人
高校生定期券補助人数
実績 H18 年度 15 人⇒目標年度 (H21 年度) 65 人
事業費 (平成 19 年度)
95,621 千円 (25,207 千円)

学び・生活の足確保対策プロジェクト

住み慣れた地域で元気に暮らす高齢者 プロジェクト

超高齢化社会の到来に伴い、高齢者の多くは、可能な限り住み慣れた地域で自立した生活を送りたいと願っているため、地域のつながりを大切にしたい支援策が必要となります。特に身体状況等に応じた適切な福祉や介護サービスの提供を基本とし、応益負担の原則で在宅生活をサポートします。

在宅介護を促進することによって、割高となる施設介護の負担を軽減するため、施設介護利用者数を維持することを目標にします。

施設介護利用数
実績 H18 年度 65 人
↓
目標 (H21 年度) 65 人
事業費 (平成 19 年度)
21,129 千円 (7,043 千円)

しじみをメインとした「鏡沼しじみまつり」や天塩川で行われる「てしお川港まつり」などのイベントを中心に、多くの観光客が訪れ、盛況である。また、観光拠点となる施設も整備されているが、さら

に魅力を高めるために地場産品を活用した特産品の創出や観光サービス提供者の育成を推進する。

観光客の年間入込数
実績 H18 年度 358,599 人⇒目標 (H21 年度) 400,000 人
事業費 (平成 19 年度)
31,064 千円 (13,228 千円)

観光振興・特産品創出支援プロジェクト

子育て支援環境づくりプロジェクト

若い父母が就労しながら、子どもを安心して生み育てることができる、子育て支援システムを整備し、多様な子育てのニーズに対応できるサービスの提供を行うことで、少子化対策の一環として推進を図ります。

(1) 天塩町エンゼルプラン策定委員会の懸案になっている「子育て不安」の解消を図り、子育て支援サービスの質的向上を目指します。
(2) 具体的施策によって、合計特殊出生率を向上します。
実績 H17 年度 1.43 ⇒ 目標 (H21 年度) 1.60
事業費 (平成 19 年度)
54,594 千円 (18,198 千円)

「改めてシジミについて考えてみよう」

いきいき水産学園

特産物であるシジミについて詳しく知ってもらおうと、天塩小学校3年生を対象に9月6日、いきいき水産学園（町主催）が開催されました。

天塩川にて、協力いただいた川内谷悟さんより漁の説明がなされ、実際に様子を見学しました。

シジミについての簡単なクイズも出題され、子どもたちは思い思いの回答をしていました。

この後、北るもい漁協天塩支所の加工施設に移動してシジミの洗浄や選別作業、冷凍室等を見学しました。



9月6日

「ご結婚おめでとうございます」 農漁業後継者結婚促進奨励金

農漁業に携わり、次世代の後継者として天塩町の第一次産業を支えていく方々を対象とした、農漁業後継者結婚奨励金（商品券）が9月7日、天塩町役場応接室において、浅田弘隆町長より結婚された次の方に手渡されました。

●辰子丑 高橋一博さん・美紀さん夫妻



9月7日

8月19日



「きれいで住みよいまちを目指す」 天青協が清掃活動を実施

天塩町青年協議会（会長：菅井尚也）会員10名によるゴミ拾い清掃活動が、8月19日町内にて行われ、40リットルのゴミ袋で4袋分拾い集めました。

自分たちの住んでいる町をきれいにしようと毎年実施されており、市街地3丁目から11丁目までの海岸通、山手通、山手裏通、新栄通を2班に分かれて行われました。

タバコの吸殻、食品のパック、空き缶などを拾いあげ、菅井会長は「数年前に比べるとゴミは減ってきている。将来的にこの活動がなくなることが望ましい」と話していました。

9月6日



「火災には十分に気をつけて」 雄信内保育所防火パレード

雄信内保育所園児による幼年消防クラブ防火パレードが9月6日、雄信内市街において行われ、園児9名が保育所前より出発して、北留萌消防組合天塩支署雄信内分遣所までの約300メートルを練り歩き、町民へ防火を呼びかけました。

9月4日
5日

「高校生が様々な業種を体験」 天塩高校インターンシップ

9月4、5日に天塩高校2年生51名が、町内の職場21か所でインターンシップが行われました。

インターンシップとは、就業体験学習のことで、自分の職業適性や将来設計について考え、就職後の職場への適応力を養うことを目的としております。

ガソリンスタンドでは実際に給油をしたり、消防署では、心肺蘇生法の訓練、とらや菓子司では、お菓子作りの体験をしました。道の駅の案内係を体験した人は「将来、店を運営したいので、接客を学べて勉強になった」と話していました。

このインターンシップでは、今後の進路選択や社会に出るための準備として貴重な経験を得ることができました。

【文・写真 天高2年熊谷拓美】



9月12日

「現場事務所を挙げての協力に感謝」

献血活動の協力に際し感謝状を贈呈

株式会社石山組天塩本店（本店長岩澤謙三）の現場事務所である一般国道232号川口改良工事作業所では、社会貢献活動として、職員や作業員39名が7月に行われた日本赤十字社による献血活動に協力したことに對し、北海道旭川血液センターより感謝状が贈られ、9月12日、役場応接室にて伝達式が行われました。

伝達式では、旭川血液センターの牟禮一秀所長が来庁し、現場作業所の古川昌行所長へと手渡されました。現場事務所にて献血活動を行うのは天塩町では初めてのことで、牟禮一秀所長は「皆さんの善意が本当にありがたい。今後も変わらぬご協力を賜りたい」とお礼を述べました。



「介助や片麻痺を体験」

天塩高校生による疑似体験学習

高齢者の現状を知り、麻痺や介助の疑似体験することで、思いやりの気持ちを育むことを目的として、天塩高校生による高齢者疑似体験学習が9月12日に天塩高校体育館にて行われ、1年生37名が講話や疑似体験を通し、ボランティアの可能性について考えました。

5グループに分かれて高齢者疑似体験や車椅子介助体験を行い、気づいた点などを発表しました。

介助体験を行った生徒は、「お互いの信頼度が高くてはいけない」「実際の場面に直面してもできるか不安」と話していました。



9月12日

町民カレンダー

ごみ収集スケジュール

月	火	水	木	金	土	日
生ごみ	一般ごみ	資源ごみ	生ごみ	農村地区	休み	休み
ペットのふん		紙おむつ等 衣類等	ペットのふん			

※ごみは当日の朝8時までに出してください。

1 月 ■定例健康相談10時〔ふれあいセンター〕
■物忘れ相談10時〔ふれあいセンター〕
■託児の日10時〔ふれあいセンター〕

2 火

3 水 ■5歳児健診12時30分〔ふれあいセンター〕
■乳児検診13時〔ふれあいセンター〕

4 木 ■おでかけサロン10時〔雄信内老人憩いの家〕

5 金 ■高齢者大学10時30分〔社会福祉会館〕

6 土

7 日 ■天塩中学校学校祭9時50分
■啓徳小中学校文化祭10時
■第4回留萌管内ミニバレーボール親睦大会

8 月 ■体育の日

9 火 ■いきいきサロン10時〔老人福祉センター〕

10 水 ■フッ素塗布12時30分〔ふれあいセンター〕

11 木 ■夕映健康相談13時30分〔てしお温泉夕映〕
■フッ素塗布12時30分〔ふれあいセンター〕

12 金

13 土 ■運転免許更新時講習 優良13時 一般14時
違反15時30分〔豊富町町民センター〕
■町民文化祭作品展示(14日迄)〔福祉会館〕
■小中学生美術書道展(15日迄)〔福祉会館〕

14 日 ■子ども会ドッジボール大会

15 月

16 火 ■夕映健康相談13時30分〔てしお温泉夕映〕

17 水 ■おひさまくらぶ10時〔ふれあいセンター〕
■いきいきサロン10時〔雄信内老人憩いの家〕

18 木

19 金 ■いきいきサロン10時〔ケアハウス〕

20 土 ■更岸小学校学芸会10時

21 日 ■天塩小学校学芸会8時30分

22 月

23 火 ■おでかけサロン10時〔老人福祉センター〕

24 水

25 木

26 金

27 土

28 日 ■町民文化祭芸能発表会10時〔社会福祉会館〕
■子宮ガン検診〔ふれあいセンター〕

29 月

30 火

31 水 ■小学校就学予定者健康診断12時30分〔福祉会館〕

●壁など見やすいところにはってご利用ください。

萌える天北オロロンルート⑩

■萌える天北オロロンルートはシーニックバイウエイ候補ルートに認定されています。

第2回萌える天北オロロンルートフォトコンテスト一般部門募集のお知らせ

■テーマ

「四季折々の感動風景、生活、ネイチャー」

■応募締切

平成20年6月30日(月)

■応募資格

どなたでもご自由に応募いただけます。

■応募方法

作品毎に所定事項を応募票(題名・撮影年月日・撮影場所・コメント・撮影路線・住所・氏名・年齢・電話番号・職業)に明記し、作品の裏側に貼り付けて、持参または、送付してください。

■賞

最優秀賞(1点)、優秀賞(3点)、各マチ賞(9点)、佳作(数点)

■携帯カメラ部門も開設

美しい景色に出会ったら、携帯カメラで撮影!添付ファイルにして左記のアドレスに送信してください。

応募先

photocon@moeru_fm

萌える天北オロロンルート

運営代表者会議事務局

電話: 0164-42-3871

FAX: 0164-42-2200

mail: tenpoku-ororon@moeru_fm

blog: http://fine.ap.teacup.com/moetenoron/



沿岸バスのダイヤ改正について

平成19年10月1日のダイヤ改正に伴い、土日祝祭日の一部の便の運休を行うことになりました。

皆様にご不便をかけると思いますが、ご協力をお願いいたします。

次の運行便が土日祝祭日に運休となります。

上り便	停留所	発着時刻	停留所	発着時刻
留萌方面行き	「天塩高校」	11:30	「天塩高校」	16:50
	「天塩」	11:32	「天塩」	16:52
下り便	停留所	発着時刻	停留所	発着時刻
豊富方面行き	「天塩」	9:11	「天塩」	18:16
	「天塩高校」	9:13	「天塩高校」	18:18

※詳細については、沿岸バス遠別営業所(☎7-2013)までお問合せください。

食

「素材の味」を味わおう!

いろいろな食品が季節に関係なく、手に入るようになり、便利な反面、食べ物の「旬」などの季節感や本来の味、おいしさに触れる機会が少なくなりました。「食」は人のからだをつくり、活動を支える大切なものですが、毎日のこととなると「そこまで考えて食べていない」というのが現状ではないでしょうか。

そのような現代の「食」事情から「肥満ややせが増えている」「野菜をあまり食べない」「インスタント食品が増えて味が均一化しやすく味覚が育ちにくい」など様々な気になることがみえています。そして、いま、小さい頃から「食」に関心をもち「食」の基盤づくりを行う「食育」が重要となっています。

こんにちは 保健師です

9月8日に天塩町健康づくり推進協議会(保健推進員会)の主催で「手づくり豆腐体験」が行われました。これは、身近な食品の成り立ちを体験し、その手間を知ることで食べ物に感謝の気持ちをもつことや手作りならではの「素材の味」を体験することを目的としています。大豆から呉汁をつくり、豆乳とおからに分けて、にがりを混ぜて豆腐をつくる…。当日は、その過程の一つ一つを体験、見学しながら、小学生と保護者、推進員が豆腐のできるまでを学びました。できた豆腐は大豆の味が濃く、「素材の味」を味わう機会になりました。

家庭では、なかなか難しい手作り体験ですが何かの機会に一度、体験すると食の知識、味として印象深く残るようです。

「食」に関心をもつことがおいしく食べることや元気なからだをつくる基礎につながります。いろいろな「食」の体験を楽しみましょう。



まちの 伝言板

ご存知ですか？ 検 察 審 査 会

稚内検察審査会

■ 検察審査会とは

選挙権を有する国民の中からくじで選ばれた11人の検察審査員が、国民を代表して、検察官が事件を起訴しなかったこと（不起訴処分）の善し悪しを審査するところです。

■ 審査はどのようなときに

犯罪の被害にあった人や犯罪を告訴・告発した人から、検察官の不起訴処分を不服として、検察審査会に申立てがあったときに審査を始めます。また、申立てがなくても、検察審査会が職権で不起訴事件を取り上げて審査することもあります。

■ 検察審査員の選び方は

市町村の選挙管理委員会が、選挙人名簿に基づいてくじで検察審査員候補者を選びます。その中から、検察審査会事務局が再びくじで検察審査員を決めます。任期は6か月です。

■ 審査の方法は

検察審査会では、十一人の検察審査員が出席し、検察審査会議を開いて、事件記録を調べたり、必要に応じて証人を呼んだり、実地見分をしたりにして検察官の不起訴処分の善し悪しを審査します。

■ 審査の結果は

検察審査会で審査した結果は、さらに詳しく捜査すべきである（不起訴不当）とか起訴すべきである（起訴相当）という議決があった場合には、検察官は、この議決を参考にして事件を再検討し、その結果、起訴が相当との結論に達したときは、起訴の手続きがとられます。

また、申立人の秘密は固く守られます。検察審査会の窓口では、申立てについての相

談を受けていますので、お問合せください。

■ 問合せ

稚内検察審査会事務局

（稚内市潮見1丁目3番10号

旭川地方裁判所稚内支部内）

☎ 0162-33-5289

小学校就学予定者 健康診断のお知らせ

教育委員会

学校保健法の規定により、平成20年4月に新しく小学校へ入学する児童について健康診断を実施します。

この健康診断は、就学予定者の心身の状況を把握し、保健上の適正な就学を期するためにに行いますので、保護者が付き添って必ず受診されますようお願いいたします。

■ 実施日

平成19年10月31日（水）

■ 実施場所

インフォメーション

Information

天塩町社会福祉会館

■ 検査項目

一般的な内科検診、歯科、視力、聴力、知能検査、言葉の観察等

■ 受付時間

12時30分～12時50分

■ 検診時間

13時00分～16時00分まで

高齢者をねらう悪質商法

こんなミカケで落とします。



近頃、高齢者をねらう悪質商法が増えております。そこで、各号に渡って悪質商法の窓口をご紹介します。

■ その三 絶対儲かります商法

「少ないリスクで大きな利益」「絶対安全な投資で退職金を増やす」

ありえない話ですが「話だけなら」と聞いたばかりに大損をすることもあります。頼みもしないのに押しかける儲け話、聞かずに門前払いしましょう。投資には勉強と「自」



責任が必要です。ラクに儲かる話はありません。

■ 「たまされた」と思ったら、消費生活センターや役場の窓口へすぐ相談ください。早いほど解決しやすくなります。

■ 問合せ

教育委員会 学校教育係
☎ 2-1026

役場の電話番号



2-1001

掲載を希望される方へ11月号に掲載を希望する方は10月15日(月)までにお知らせください。

10月は労働保険 適用促進月間です

稚内労働基準監督署

労働保険とは、労災保険と雇用保険の総称で、労働者の生活の安定、福祉の増進等を図ることを目的に、政府が直接管理運営している保険です。農林水産業の一部を除き、労働者を一人でも雇用する事業については、法人・個人を問わず加入が義務づけられております。

厚生労働省では、10月を「労働保険適用促進月間」と定め、集中的に広報活動を展開し、労働保険制度のより一層の理解、周知を図ることとしております。

労働者が安心して働ける職場となるよう、また労働保険に加入していない事業主の方は、速やかに最寄りの労働基準監督署または公共職業安定所（ハローワーク）で加入手続きをしてください。

問合せ

▼ 稚内労働基準監督署

☎ 0162-23-3833

▼ 稚内公共職業安定所

☎ 0162-34-1120

留萌管内の農村女性がファーマーズマーケット 「農業まるごとふれあい広場2007」開催！

留萌管内農村女性ネットワーク“オロロン”（会長：杉野久里子氏）が「農業まるごとふれあい広場2007」を開催します。

ネットワーク“オロロン”会員は、各市町村で農畜産物の加工研究や販売、野菜の直売活動、ドライフラワー等の作成、各種講習会の開催など幅広く活動しています。

農村女性が手塩にかけた農畜産物や加工品を見て・味わって、生産現場の話に耳を傾けてまるごと農業にふれあってみませんか。

おいしいものてんこ盛りで、楽しいイベントもあります。ぜひご来場ください。



とき	10月21日(日) オープン11:00(13:00終了)
ところ	羽幌町車両総合車庫 (羽幌町4条6丁目)羽幌町役場 斜め向かい
内容	・いも、かぼちゃ、漬物用野菜、りんご、豆類などの農産物の直売 ・ジャム、べこもち、漬け物、蒸しパンなど農産加工品 ・裂き織り、ドライフラワー、リース等 ・活動パネル展示あり、農産加工品の試食 ・牛乳の無料配布(11:00と12:00の2回)

万一の交通事故でも私たちが必ず守ってくれる。それが 自賠責制度

交通事故による死者数は年々減少傾向にあるものの、平成18年の事故発生件数は約8万件、死傷者数は8年連続で100万人を超える約110万人と、国民の誰もが交通事故の被害者にも加害者にもなり得る極めて深刻な状態となっています。

交通事故は車社会の負の部分であり、被害者にとっても加害者にとっても悲惨な結果をもたらすものです。

自賠責保険・共済は、すべての自動車の保有者に、自動車1台ごとに加入が義務づけられており、基本的にすべての加害者の賠償責任を担保するとともに、すべての被害者の基本的な賠償を保障する制度であり、被害者の保護を目的としています。

ひとりひとりが、より一層自賠責制度の役割・重要性や、保険金・共済金の支払いのしくみなどを十分に理解・認識することがとても大切です。

自賠責保険・共済の有効期限は切れていませんか？

自賠責保険・共済は、万一の自動車事故の際の基本的な対人賠償を目的として、原動機付自転車を含むすべての自動車に加入が義務づけられています（自動車損害賠償保障法）。

四輪車ももちろんですが、特に、車検制度のない250cc以下のバイク（原動機付自転車・軽二輪自動車）は、有効期限切れ、かけ忘れにご注意を！

なお、自賠責制度の詳細な内容は、<http://www.jibai.jp>でご覧になれます。

ご厚志
ありがとうございます
ございます

●天塩町へ

海岸通4 佐藤 京子さん
五〇〇、〇〇〇円



●天塩町社会福祉協議会
愛情銀行へ

【一般】

天塩軟式野球連盟

三、〇〇〇円

【香典返すところ】

南川口 岡田 俊男さん
三〇、〇〇〇円

海岸通4 佐藤 京子さん
三〇〇、〇〇〇円

●恵愛荘入所のお年寄りへ

山手通10 工藤 充子さん
遠別町 山本 仁美さん
男能富 吉田 昭昌さん
天塩消費者協会
天塩町農業協同組合女性部銀
年齢部会
来夢

お詫び

先月号の恵愛荘夏祭りポラ
ンティアお礼にて掲載漏れが
ありましたので、お詫び申し
上げ、改めて掲載させていた
だきます。

●恵愛荘夏祭りポランティ
アお礼

南 町 大塚ハルエさん
新地通5 海淵 聡子さん
山手通6 久末 サダさん
山手通10 橋詰ミエ子さん
天塩高校ボランティアクラブ

↑ として保存しておきましょう ↓

●ひとのうごき●

👤 おたんじょう

古草 ^{さおり}沙織ちゃん
英一さん・亜紀さんの長女 新栄通2
倉田 ^{きよみ}希世美ちゃん
敬一さん・李華さんの長女 円 山
佐藤 ^{しょう}翔ちゃん
政彦さん・美紀さんの3男 南開団地
佐々木 ^{えいた}瑛汰ちゃん
邦宏さん・幸子さんの長男 みどり

👤 ごげっこん

高橋一博さん・宮寄美紀さん 辰子丑

土地活用 みんなで創る 美しいまち

10月は「土地月間」です

10月は「土地月間」です。国土交通省では土地基本法の趣旨を踏まえ、土地についての基本理念及び土地対策の重要性について皆さんの理解と関心を高めるため、毎年10月を「土地月間」とし、10月1日を「土地の日」としています。

「土地月間」を機会に、土地について今一度お考えいただき、ご理解を深めていただきますようよろしくお願いします。

国土交通省
北海道
天塩町

●わたしたちのまち●

8月末

人口 3,830人 (+4)
男 1,893人 (+2)
女 1,937人 (+2)
世帯数 1,664世帯 (+1)

先日の世界柔道にて、期待されていた選手たちが誤審によって負けた、と報道されていました。世界ルールと日本のルールが若干変わってきている点もあり、適応できなかったとも言えるかもしれません。適応といえば就職後の適応力を養うとして、天塩高校がインターンシップを行い、広報づくりに体験していただきました。慣れない写真撮影や記事作成を一生懸命頑張ってくれました。4ページのインターンシップの記事をぜひご一読ください。(T)

編集後記